



服の行方

長野県上田染谷丘高校 1年5組 亀井 寧

13 気候変動に
具体的な対策を



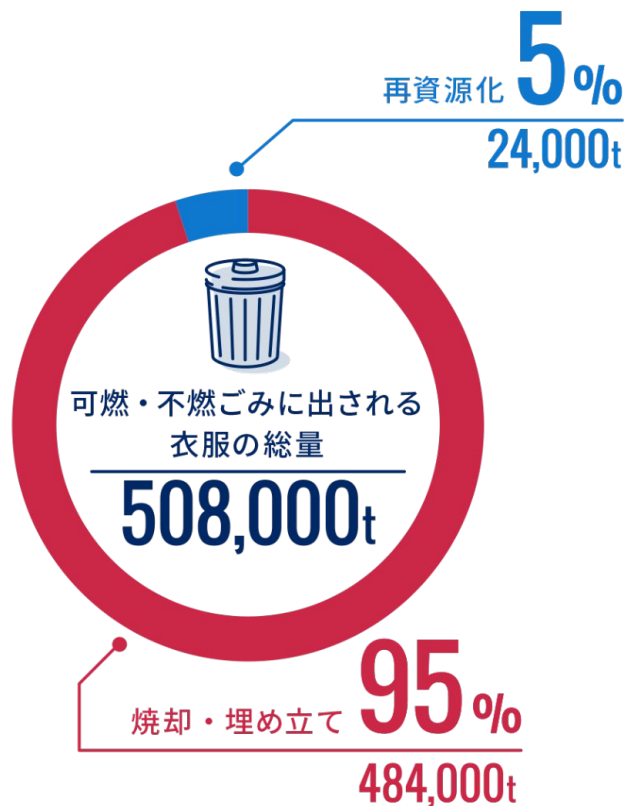
テーマ設定の理由

ゴミとして出した衣服
の行方が気になった
から



現状

ごみに出される衣服の総量と処理方法



1日あたりに焼却・埋め立てされる衣服の総量（平均）

1,300t/Day



大型トラック



130台分

#SUSTAINABLEFASHION

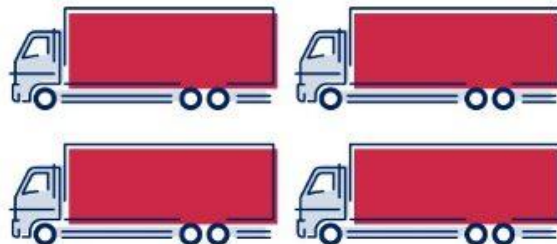
家庭から手放される衣服の量は年間約75万トン、
うち約50万トンがごみとして廃棄されています。



ごみに出された衣服が
再資源化される割合はたった5%ほど。
服を資源として再活用することが求められています。

#SUSTAINABLEFASHION

平均すると1日あたり
大型トラック約130台分の服が
焼却・埋立処分されています。



日本の家庭で廃棄される服は、
年間約48万トン。
廃棄量の削減が課題です。

問題点

- ・廃棄される服がかなりおおく、再資源化が追いついていない点
- ・原材料調達段階で環境負荷が大きい点
- ・安く服が手に入るようになったので、消費が増え、それに伴い生産も 増えた点
- ・そもそも買うだけ買い、着ないで捨ててしまうといった無駄をする人 がいる点

原材料調達段階の環境負荷

天然繊維の環境負荷（コットンなど）



栽培時の水消費
化学肥料による土壌汚染など

合成繊維の環境負荷（ポリエステルなど）



石油資源の使用
工場でのCO₂排出など

原材料調達から製造段階までに排出される環境負荷の総量（年間）

CO₂排出量

約**90,000kt**

水消費量

約**83億m³**

端材等排出量

約**45,000t** +

化学物質による
水質汚染

※製造段階とは、紡績・染色・裁断・縫製・輸送を指します

服1着あたり換算

CO₂排出量

約**25.5kg**

ペットボトル（500ml）



約**255本**製造分

水消費量

約**2,300ℓ**

浴槽



約**11杯**分

服の着数換算

端材等排出量

約**45,000t**

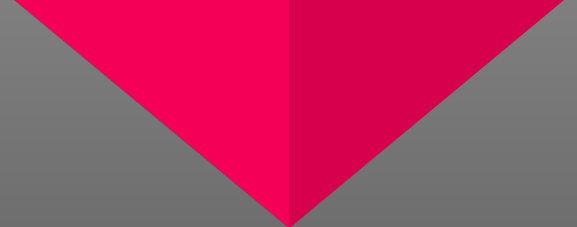
服



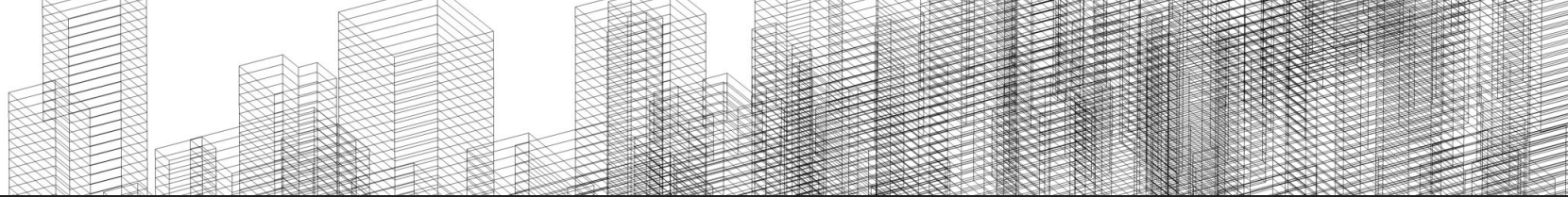
約**1.8億**着分

※2019年時点における服の国内供給量約35.3億着をもとに算出しています

※服1着は0.25kgとして計算しています
※実際には端材はその多くがリサイクルされています



こういった問題は
服だけでなく、あらゆる
製品にある



10代からの提言

- 再資源にする施設を造るための予算を増やす
- 生産を減らす

- 長く使う

傷んだ部分は修復

別のものに作り変える

本当に必要なものか立ち止まって考えてから買うようにすると長く使えるモノが手に入る



感想

大量の服が再資源とされず、廃棄されている現状を知った。個々人で再利用をしたり、買う服を減らしたりすることが重要だと思った。

